



## 【収穫編】

## 1. 生育概況

本年度の「ふくさやか」については、1月下旬から気温が高温に経過したことから生育は平年より1～2週間程度早く経過し、早いところでは3月下旬に出穂期を迎えたほ場もありました。開花についても平年に比べ1週間程度（4/20頃）早く経過しましたが、5月から気温が平年より低く経過したため、成熟期はゆるやかに進んでいますが、平年より早い見込みです。

## 2. 生育の状況（各地域の代表的なほ場での調査結果）

今回、管内のほ場巡回で水分測定を行った結果は下記の通りです！！

## 表 管内小麦水分測定結果（5月25日実施）

今回の水分測定では計測（40%以下）できる地点は少なかったですが、県の農業技術振興センター（安土町大中）における11月5日播種の「ふくさやか」の成熟期は、6月3日頃（昨年の成熟期は5月30日）と予測されています。（5月17日時点、登熟期の有効積算気温による予測）

また、管内の早いところでは6月1日頃から収穫が行える圃場も見受けられます。【（○）は播種日】

営農経済 C	集落名	水分 (%)	営農経済 C	集落名	水分 (%)
彦根	甘呂	(11/12頃) 測定不能	稲枝	稲里	(10/29頃) 測定不能
彦根	三津屋	(11/10頃) 測定不能	稲枝	下石寺	(11/11頃) 測定不能
愛荘	畑田	(10/31頃) 測定不能	東部	金屋	(10/31頃) 38.4
愛荘	蚊野	(11/5頃) 測定不能	東部	土田	(11/1頃) 37.1

天候にもよりますが、今後1日当たり2～3%程度水分が減少すると考えられます。

## 3. これからの管理

## 1) 収穫・調製

「ふくさやか」は成熟期の2～3日後で、穀粒水分が30%以下になってから収穫しましょう。刈り遅れると容積重の低下や、さらに降雨にあうと倒伏や品質低下の危険性が増加します。コンバインの整備・準備を早めに行い、農作業では安全面にも十分注意し計画的に刈取り作業を行いましょう！！

## 2) 収穫にあたっての留意点

## ① 収穫作業

麦水分（穀粒水分）が高い状態での収穫は、穀粒損傷や品質低下を招きます。以降、雨や曇天が続いていることから、各施設で水分を測定し適切な水分での収穫に心掛けてください！！

## ② 施設への搬入

麦の蒸れ防止のため、収穫した麦は速やかに施設へ搬入してください。



## 施設稼働についてのお知らせ！！

令和3年6月1日（火）から施設での荷受けを開始します。

荷受時間等詳細については、各営農経済センターまで問い合わせください。

高水分での収穫は品質低下を招きます！！

適正水分収穫のため収穫前に必ず水分測定を行って下さい！！

成熟期を迎えた麦は立毛で乾燥がすすみます！ 栽培面積が大きい場合は子実水分30%をきったら収穫を行い、刈り遅れに注意しましょう！

※施設搬入時までに生産管理日誌の提出（2枚目）を必ずお願いします。